

サクラクオリティとは

◆発祥はニュージーランド

- ・ニュージーランド観光局(TNZ)は、2001年に策定した「ニュージーランド観光戦略2010」に基づき、観光産業のブランド力強化を図るため、観光産業全般をカバーする品質認証制度の導入を検討
- ・TNZは、2001年にクォールマーク・ニュージーランド・リミテッド(出資率：国60%、ニュージーランド自動車協会40%)を設立し1993年からニュージーランド自動車協会の基準により実施してきた品質認証制度「にクォールマーク(Qualmark)を継承

◆2009年 中部圏社会経済研究所にてクォールマークをお手本に日本独自の「観光品質基準」を策定・公開

- ・同研究所のミッションは、広域中部圏に関する総合的・中立的な調査研究、および先導的プロジェクトへの関与を通じたイノベーションへの貢献
- ・2010年、高山、伊勢志摩の7宿泊施設に適用して実証研究（非公開）
- ・2011年、雪国観光圏での適用。外国人が安心して旅行するための環境整備のための必須項目として導入
- ・その後、「日本旅館編」改定、「ホテル編」「民宿・ペンション編」策定と、改良を続ける

◆2016年 一般社団法人観光品質認証協会に、SAKURA QUALITYブランドを移譲

- ・より実績があり、実行力のある同社団法人にブランド移譲。同時に、品質基準の見直しに着手

◆2018年4月 新生SAKURA QUALITYを発表、全国の13観光圏と共同プロジェクトをスタート (現在提携している観光圏およびDMO等は約30団体弱まで拡大)



日本で唯一標準化された、ホテルや旅館等の宿泊施設を中心とした観光品質認証制度の名称です。
世界中の旅行者に、質の高い日本の観光サービスに関する情報提供を行い、安心して快適な旅行を楽しんでいただくために、申請のあった宿泊施設などの観光サービスなどの品質を第三者が評価し、その品質の高さを認証する仕組みです。
旅行者が必要とする質の高い観光サービスに関する情報を情報発信することにより、旅行者にとってサービス選択の幅が広がるだけでなく、サービスを提供する事業者にとっても、サービスレベルの維持・向上のツールとして活用できます。

なぜ共同プロジェクトなのか

サクラクオリティの理念の1つに「地域との連携重視」とあります。

宿泊施設は観光地域と旅行者とつなぐ要のポジション。

宿泊施設が安心・安全であれば、旅行者にとっては安心して快適な滞在型旅行が可能となります。

宿泊施設を拠点とした周遊滞在型旅行の面的実現による地域経済活性化を目指して、観光品質認証協会は、DMO（観光庁登録の観光地域づくり法人）等地域の観光振興団体と共同で、サクラクオリティの普及および認知拡大に取り組んでいます。

導入のメリット

お客様

- 自分の期待にあった宿泊施設を見つけやすい
- 安心して旅行することができる
- エリアを越えて旅行する際の目安になる

宿泊
事業者

- 客観的に自社の品質をチェックすることができる
- お客様期待値とのミスマッチの解消
- SDGs意識の高いインバウンドの受け入れに有効
- スタッフの目標意識・モチベーション・一体感の醸成
- 評価結果が第三者機関から公表されることにより効果的・効率的に情報発信できる

地域

- 地域全体での受け入れ品質を示すことができる
- 大型コンベンションの誘致がしやすくなる
- インバウンドの受け入れ体制の整備・観光サービス基準の底上げができる
- 他地域との差別化ツールとして活用できる



サクラオリエティの基準と仕組み

サクラオリエティは1サクラ、2サクラ、2.5サクラ、3サクラの4段階に分けられる「フェーズⅠ」と3.5サクラ、4サクラ、5サクラの3段階に分けられる「フェーズⅡ」があります。



【フェーズⅡ】

フェーズⅠ調査で3サクラ以上の認証可能性があると判断された施設でフェーズⅡ調査を希望する施設について覆面調査を実施

費用：275,000円(税込)

有効期間：2年

※6ヶ月毎の自己診断シート提出により更新無料

【フェーズⅠ】

認証を希望する施設に対して、施設設備、サービス品質、安全管理、外国人対応などの簡易調査をDMO調査員とともに実施

費用：27,500円(税込)

有効期間：2年

サクラクオリティ導入施設

【中央日本エリアの主な導入施設】

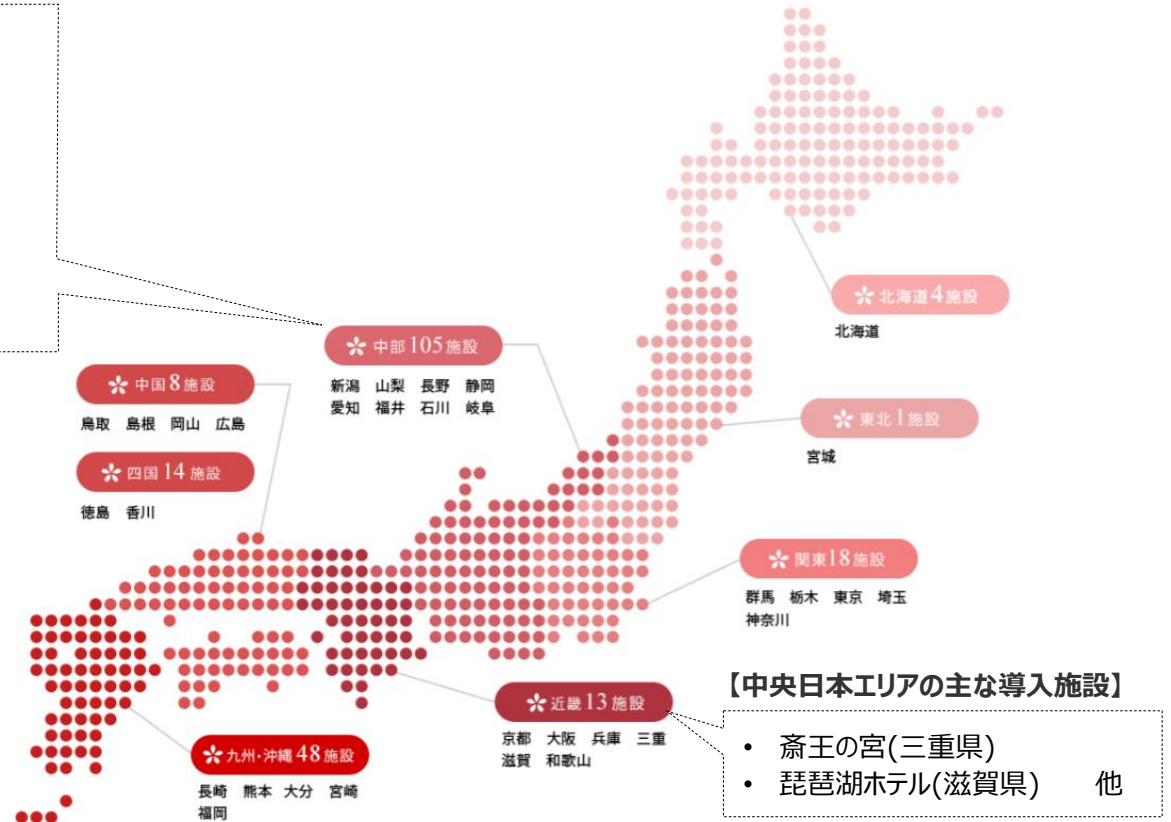
- ホテルJALシティ富山(富山県)
- 加賀百万石(石川県)
- あわら温泉 美松(福井県)
- 上高地帝国ホテル(長野県)
- 水明館(岐阜県)
- ホテルアソシア静岡(静岡県)
- 源氏香(愛知県)
- オークラクトシティホテル浜松(浜松市)
- JRゲートタワーホテル(名古屋市)

他

※中央日本エリア：富山・石川・福井・長野・岐阜
静岡・愛知・三重・滋賀

※全ての導入施設名(公表同意)は観光品質認証
協会のサイトで確認できます。

<https://www.sakuraquality.com/facilities>



【中央日本エリアの主な導入施設】

- 齋王の宮(三重県)
- 琵琶湖ホテル(滋賀県)

他

【導入された施設様の感想】

- サクラクオリティは「健康診断」のようなものだと思います。長年施設の運営を続けていると、目の前のことに忙しくて毎回同じことをしていてもどこか抜けていることがあると思います。大きな抜けではなくても、その積み重ねですよね。自分たちの施設の価値を人に評価してもらうのは大きいです。
- スタッフが、各自グループに分かれてそれぞれが責任を持って、『ここはこうしよう、次はああしよう』と新たな目標を持ってくれるようになりました。
- リピーターのおお客様のご利用が徐々に増えています。
- 本当に勉強になりました。いろんな課題を、お客様目線で気づかせてくれて、私だけではなくスタッフにも課題点が共有できるのが良い点だと思います。

サクラクオリティに+で取得



GSTC
承認による基準

Heartwarming Practice

バリアフリーの取組も特化した認証

費用：4,000円
有効期間：サクラクオリティに準ずる

A Clean Practice

感染症拡大防止対策を含む
安全管理プログラム

費用：0円
有効期間：サクラクオリティに準ずる

An ESG Practice

国際的に求められるSDGsの取組を
実践する宿泊施設として認証

費用：400,000円
有効期間：サクラクオリティフェーズ I に準ずる

<GSTCに承認されたという事とは？>

GSTC（世界持続可能観光協議会）は世界的な旅行および観光分野における観光産業界の専門家や政府機関のための持続可能な開発の基準を定め管理する国際非営利団体です。

その団体に認証された「An ESG Practice」は国際規格という位置づけになります。









簡単に言うと、、、

世界に対して「うちはサステナビリティへの取り組みをちゃんとやっています。単に言ってるだけじゃなくて、国際規格の基準に合わせて実施しています！」という宣言になるという事です。

<An ESG Practiceを取得するメリットは？>

- ◆全国で唯一GSTCより認証を受けた日本の基準。（※GSTC承認：Green Key(デンマーク)とAn ESG Practiceの2つのみ）
- ◆GSTCのホームページにサクラクオリティ「An ESG Practice」制度掲載。サクラクオリティの認知拡大。
- ◆海外の富裕層はGSTC認証取得の施設に宿泊を希望する為集客UPを狙える。
- ◆世界中のOTA(オンライン旅行予約サイト)に共有される。
- ◆MICE誘致の際、GSTC認証をとった宿泊施設があると有利。
- ◆SDGsの取組方法がわかる。

「An ESG Practice」チェック項目について

基本マーク	評価カテゴリー	Sakura Quality An ESG Practice	評価カテゴリーの表示意味
 SAKURA QUALITY An ESG Practice	5 御衣黄ザクラ		Leaders
	4 御衣黄ザクラ		Regenerative
	3 御衣黄ザクラ		Restorative
	2 御衣黄ザクラ		Excellent
	1 御衣黄ザクラ		Practicing

項目	全172項目
環境関連	117項目
社会関連	7項目
ビジネス関連	38項目

- ・ SDGs の17のゴールに基づいた 172 項目で構成され、チェックは当機構ではない別団体が担うこととなります。
- ・ チェック項目調査の前段に、サクラクオリティフェーズ I の品質調査が必要です。
- ・ 各施設はチェックシートの回答や、調査員による現地視察を経て評価されます。
- ・ 「An ESG Practice」では緑色のサクラが認証マークとなり、最高は5御衣黄ザクラとなります。
- ・ 「An ESG Practice」のチェックシートは観光品質認証協会のホームページからダウンロード可。

※チェックシートにはパスワードがかかっていますので、ご希望の方は横井までお問合せください。

GSTCのホームページで「An ESG Practice」制度が紹介されました

'Sakura Quality An ESG Practice Standard' Announced as a GSTC-Recognized Standard

Home / Posts / News / GSTC Recognition / 'Sakura Quality An ESG Practice Standard' Announced as a GSTC-Recognized Standard

The GSTC is pleased to announce that 'Sakura Quality An ESG Practice Standard' for hotels and ryokans in Japan has achieved 'GSTC-Recognized Standard' status.

In Japan, particular qualities are associated with different flowers, and the quality associated with Sakura, the cherry blossom, is "spiritual beauty." **Sakura Quality** began research in April 2011 and is currently working with 26 DMOs across Japan as a quality certification system that certifies quality together with DMOs across Japan (as of April 2022) and has adopted over 2,000 criteria for lodging facilities.

The 'Sakura Quality An ESG Practice Standard' for hotels and ryokans in Japan consists of 172 items: 117 environment-related items, 17 social-related items, and 38 business-related items.

The GSTC-Recognized status refers to the standard itself, indicating that a sustainable tourism standard or system has been reviewed by GSTC technical experts and the GSTC Assurance Panel and deemed the standard or system equivalent to the GSTC Criteria for sustainable tourism. It shows that the set of standards is based on the four pillars of the GSTC Criteria: Sustainable Management, Socioeconomic, Cultural, and Environmental principles. GSTC Recognition does not relate to the process of certification or accreditation.

"Sakura Quality has been conducting quality inspections of lodging facilities based on the Sakura Quality Standards that consist of items related to providing safe, secure, and honest services. In addition to providing safe, secure, and honest services, the 'ESG Practice Standard' consists of 172 criteria, including measures to prevent the spread of infectious diseases. This is an attempt to certify and disseminate information on SDG initiatives in Japan," said Mr. Takeshi Kitamura, Sakura Quality CEO.

"The use of the GSTC Criteria and framework is increasing in Japan, and we are pleased to see that Sakura Quality is joining and supporting those efforts with a GSTC-compliant approach and gaining GSTC Recognition of their standard," said Randy Durband, GSTC CEO.



GSTC followers receive once a month updates on important developments and opportunities:

Upcoming Open GSTC Webinar

Leading Sustainable Tourism Destinations: STTP Case Studies

June 12, 2017, 4:30pm - 5:30pm CEST



Ashio Esaki, GSTC Training Director

With several case studies from the GSTC Sustainable Tourism Training Program (STTP), this webinar showcases best practices and lessons learned on sustainable tourism destination development, management and marketing. Learn how some of the world's leading sustainable destinations are implementing concrete steps to improve sustainability performance and to achieve tangible benefits for the tourism industry. Date and Time: Mon, Jun 12, 2017 4:30 PM - 5:30 PM CEST

[LEARN MORE >>>](#)

The Sustainable Travel Online Summit 1-4 June to include a talk by GSTC CEO Randy Durband



Interrim Travel Magazine is hosting a free, online event for people who love to travel and want to make a difference, the [Sustainable Travel Summit](#). Taking place June 1st through the 4th, 2017.



※エコ認定（英語のサイトではeco certified）と表示される事は、国連がかかげるSDGsに取り組んでいる事の証となります。
これは国連が基準を承認した制度でISOと同じ効力があります。

Google ホテル一覧に戻る | 京都府 > 京都市 > 下京区 > THE THOUSAND KYOTO

トップ 料金 レビュー 地図 詳細 写真



THE THOUSAND KYOTO

4つ星ホテル  エコ認定

〒600-8216 京都府京都市下京区東塩小路町570 • 075-354-1000

[ウェブサイト](#) [経路案内](#) [保存](#) [共有](#) [空き室状況の確認](#)

4.4 ★★★★★
とても良い | 740件のレビュー

 スパ  Wi-Fi (無料)  朝食がおいしい  公

シンプルな客室を備えた現代的なホテル。2軒のレストラン、ティーバー、庭園がある。

¥20,200
1月23日~24日

楽天トラベルと始める

旅行 × サステナビリティ

TRAVEL × SUSTAINABILITY

サクラクオリティグリーンの認証を受けている宿

「サクラクオリティグリーン（海外名称：Sakura Quality An ESG Practice）」は、日本らしい循環型社会への貢献を追求するための172項目の基準を構成、米国GSTCより、国際認証規格として基準承認を受けた品質認証制度です。



【京都府】京都駅

ザ・サウザンド京都

サクラクオリティ「An ESG Practice認証」国内初取得。次の千年の心地よさを届ける、「千年ホテル」。京都の知恵ともてなしから生まれる人、社会、未来に心地よい感動体験をご提供します。

[ホテル詳細](#) [宿泊プランを見る](#)



【滋賀県】大津・雄琴・草津・栗東

琵琶湖ホテル

2022年、国内の宿泊施設としては初となる「An ESG Practice認証」と「A Clean Practice認証」を取得。地域色豊かな食事や体験をお楽しみいただけるプランをご用意しております。

[ホテル詳細](#) [宿泊プランを見る](#)



【群馬県】水上・猿ヶ京・沼田

上牧温泉 人気の貸切風呂と炭火山里料理の宿 辰巳館

環境に配慮したアメニティを使用しており、サクラクオリティを取得。名物「いろり献残焼」や炭火山里料理などの郷土料理をお楽しみください。

[ホテル詳細](#) [宿泊プランを見る](#)



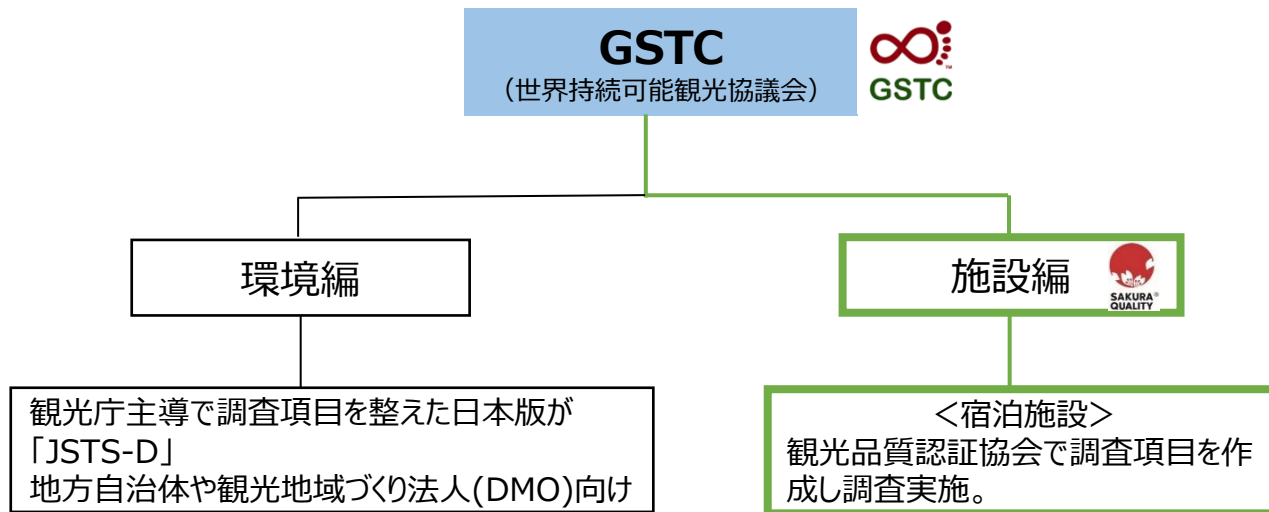
【群馬県】水上・猿

谷川温泉 別邸 あん

環境対策へ真摯に取一認証」に続き、宿「サクラクオリティかけ流しの温泉、上心のこもったおもてお待ちしております

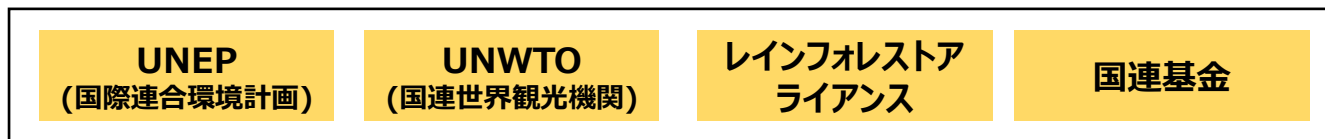
[ホテル詳細](#)

【参考】



そもそもGSTC (世界持続可能観光協議会)とは、

GSTC発足以前から世界では、すでに特定の地域で独自に開発されたものなど、多数の持続可能な観光基準 やエコラベル等が存在しており、何が正しいものなのかわからない状態でした。そのような混乱を避けるため、



UNEP、UNWTO、レインフォレストアライアンス、国連基金がリードを取り、32のパートナー団体と連携しGSTCを設立。

GSTC (非営利団体)

- 目的：持続可能な観光の推進と持続可能な観光の国際基準を作ること
- 目標：民間および公共の関係者の間で持続可能な観光に関する知識と実践を増やすこと